地域の笑顔のために

みんなでつくる、あたたかい居場所

はんだ市議会だより





こども食堂 おっかわちょっこり

NO.244
令和8年
11月1日発行

はんだ市議会だより



お知らせ!!

★市政を問う
一般質問(6名)

★議案の審議結果



決算認定議案の審査
議会事業評価の結果
特別委員会の年間調査テーマ
共生のまちづくり推進調査特別委員会
いじめ解消調査特別委員会
議員勉強会

市政を問う 一般質問



9月定例会では、8月27日、28日に6名の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と市長を始めとする市当局の答弁(要旨)は次のとおりです。

※質問、答弁の詳細は11月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置される会議録でご覧いただけます。また、12月上旬には、市のホームページでもご覧いただけます。
※議員ごとにYou Tubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

※質問者の写真右上のマークは、質問の内容を表しています。(子【子育て】、教【教育】、福【福祉】、ま【まちづくり】、産【産業】、観【観光】、他【その他】)

会議録へ

子 福 有留麻由(無所属)



地域にとって魅力ある放課後ひろばに

問 亀崎小学校放課後ひろばを平日の午前中に開設しない理由を伺います。

答 亀崎地域に未就学児の親子が利用できる地域子育て支援拠点があるためです。

問 現在の体制で、保護者の要望に十分に応えられたと考えていますか。

答 ニーズに応えられたかの判断は難しいですが、既存施設を充実させ、それを周知しながらひとつずつ応えていきたいと考えています。

問 地域とのつながりを大切にするため、放課後ひろばの登録者の範囲を広げられますか。

答 安全面の重視を前提に運営状況を見ながら、協議会と相談し検討していきます。

支払いやすい国保税に

問 今後の放課後ひろばでは、地域の実情に応じた柔軟な対応を求めます。

答 既存の運営体制を基本に、計画段階から地域との対話を大切にし、地域に寄り添った柔軟な対応に努めます。

問 令和9年度の国保税を抑えるため基金の活用を求めます。

答 急激な負担増となる場合は、運営協議会にも意見を伺い、基金残高や繰越金の状況を見ながら判断します。

問 国保加入世帯への子育て支援策として、子どもの均等割0(ゼロ)を求めます。

答 子育て支援策には様々な方法があり、国保の均等割軽減を特に優先して行う考えはありません。



福 岩田玲子(創造みらい半田)



自分らしく生きるための「人生会議」とエンディングノート

問 厚生労働省は、もしもの時に望む生き方を前もって話し合っておく人生会議を推進しています。半田市には、話し合いの結果を整理して書き留める「医療・ケアについての私の事前指示書」がありますが、市民へのさらなる周知と活用をどのように図っていきますか。

答 市報やホームページ、イベントなどでの従来の周知に加え、今年は図書館において人生会議に関するパネル展示、事前指示書や関連図書の紹介を予定しています。今後も市民の皆様やその家族、医療・介護従事者に対し、人生会議の重要性を広く周知するとともに、事前指示書のさらなる活用を推進していきます。

問 「事前指示書」を終末期の治療希望や過ごし方に加え、家族や大切な人に伝えておきたいこと、連絡をして欲しい人、渡したい物、臓器提供、葬儀、供養や遺言について書き記せる、人生会議ノートのような様式にリニューアルして欲しいと考えますが見解を伺います。

答 他市町の取組みを十分に調査研究し、医療・介護の関係者とともに、項目追加や名称の変更を含め検討していきます。

問 県内16市町村が配布しているエンディングノートを作成する考えはありますか。

答 新たに独自のエンディングノートを作成する考えはありませんが、今後は「事前指示書」の改定を検討し、人生会議のさらなる周知、啓発に注力していきます。



福 坂井美穂（公明党）



高齢者肺炎球菌感染症の予防とPCV20の接種機会の確保

問 令和8年4月1日現在で66歳以上となる方の高齢者肺炎球菌ワクチンの接種状況を把握していますか。

答 これまでに高齢者肺炎球菌ワクチンを接種した方は1万3千240人、一度も接種していない方は1万5千227人です。

問 健康被害救済制度を踏まえ、任意接種費用への助成を行いませんか。

答 任意接種への公費助成は市民に定期接種と変わりない安心感を与えると推測できますが、本市は独自に助成を行って接種を推奨することは慎重であるべきと考えており、従来から任意接種費用への助成は行わない方針としています。

問 定期接種の機会を逃した方にPCV20の任意接種費用を助成してはどうですか。

答 特例措置の期間中に接種機会を適切かつ公平に提供しており、計画的に接種された方との公平性から助成を行う考えはありません。

問 過去にPPSV23を接種した方について、接種歴やPCV20の接種を必要と判断した場合、独自の助成を行う考えはありませんか。

答 国が定めた定期接種に準拠して確実に実施することが極めて重要であると考えています。現時点において独自の費用助成を行う予定はありません。再接種の定期接種化については、国の動向を十分に注視していきます。



福 麻生七海（公明党）



膵臓がんの早期発見・早期治療に向けた取組み

問 がんの死因に占める膵臓がんの割合について伺います。

答 がんによる死亡者数は332人で、この内、膵臓がんによる死亡者数は30人で、がんによる死亡者数全体の9％を占めています。

問 特定健診で膵臓がんに繋がる可能性のある血糖値に異常が認められた際の対応について伺います。

答 リスクが軽度の方には生活習慣の改善指導を、中等度以上の方には、医療機関の受診案内を行っています。

問 特定健診の通知に膵臓がんの危険因子を判断できる啓発資料を同封し、がんが疑われる場合は、かかりつけ医への相談を促すなど一歩進んだ呼びかけが必要と考えますが見解を伺います。

答 今後は受診券を送付する際に膵臓がんの危険因子をセルフチェックできる啓発チラシを同封し、早期発見や予防に向けた行動に繋がるよう呼びかけていきます。

問 膵臓がんの早期発見に向け、半田市医師会や知多半島総合医療機構とスクリーニング連携システムの導入について協議を進めるべきと考えますが見解を伺います。

答 機構へは導入に向けたアプローチを進めているところです。専門医や医療スタッフの確保、医師会とのルールづくり等、多くの課題があるため即座の導入はできませんが、今後も尾道方式の導入事例を参考に機構へ働きかけ、実現するよう取組んでいきます。



ま 伊藤正興（チャレンジはんだ）



コンテナ型トイレのさらなる活用と認知度向上

問 どのような経緯でコンテナ型トイレを導入しましたか。

答 国において災害時の避難所での生活環境を改善するための新たな交付金が創設され自治体における防災対策の強化が進められました。本市も国の動向を踏まえ平時にも活用できる防災資機材の整備について検討し導入しました。

問 イベント等で活用し認知度向上を図る必要があると考えますが見解を伺います。

答 災害時の円滑な活用に向け、市民の認知度向上を図ることは重要であり、今後もイベントや防災訓練等で積極的に活用していきます。

災害時における井戸水の活用

問 井戸水提供の家の制度拡大について再検討する考えはありますか。

答 今回の熊本地震では生活用水を確保する手段として井戸水の存在意義が非常に高まりました。本市も井戸水提供の家の制度拡大を水道事業と連携を図りながら検討を進めていきます。

問 現在使用していない井戸を活用するため、手押しポンプの整備費用を補助金として支援することを提案しますが見解を伺います。

答 既に井戸水提供の家に登録いただいている所有者との均衡を考慮する必要等もあるため、現時点で補助制度を設ける考えはありません。





コンテナ型トイレ

交通安全対策の推進

ま子

中村和也（つなぐ未来）



問 自転車への青切符制度導入に伴う、具体的な交通ルールの周知はどのようか。

答 さまざまな機会を捉えて周知啓発に取組んでおり、今後も愛知県警察をはじめとする関係機関が作成した動画などを活用し、分かりやすく効果的な周知を図っていきます。

問 矢羽根型路面標示の整備について見解を伺います。

答 矢羽根型路面標示は有効な安全対策であるため、今後は新設道路や既存道路の状況を踏まえ、設置を検討していきます。

問 信号機のない横断歩道における安全対策はどのようか。

答 見通しが悪く横断歩道が分かりにくい箇所など、交通安全上の対策が必要な場合には、路面のカラー化やポストコーンによる狭さくなどの安全対策を実施しています。発光式注意喚起設備や路面埋込型LED発光設備については、道路構造の基準との整合性、設置や維持管理の費用などいくつかの課題がありますが、警察や地域の意見、他の自治体の事例などから条件が整えば、新たな安全対策として検討していきます。

問 学校部活動・地域クラブ活動での生徒移動の安全確保と移動支援はどのようか。

答 学校部活動の遠征等では、国から通知のあった対策を基準とし、チェックシートで安全管理を行っていきます。また、地域クラブにも国の通知内容や対象大会への交通費補助制度を周知し、生徒の移動での安全確保に取組んでいきます。



議案の審議結果 令和8年第5回定例会（令和8年8月27日～10月6日）

※審議の内容については、5ページのQRコードから会議録をご覧ください。
①本会議 ②予算委員会 ③決算委員会 ※①③は11月下旬に公開の予定
④総務委員会 ⑤文教厚生委員会 ⑥建設産業委員会

■全会一致で可決した案件

議案番号等	議案名	会議録
52	令和8年度半田市一般会計補正予算第4号	②
54	令和8年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号	②
56	**半田市立認定こども園条例等の一部改正について** 議案Pick Up	⑤
57	半田市ふるさと景観条例の一部改正について	⑥
58	半田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	⑥
59	半田市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	④
60	**半田市知多半田駅前再開発ビル駐車場の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑥
61	**アイプラザ半田の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑥
62	**半田空の科学館・半田市体育館の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
63	**半田福祉ふれあいプールの指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
64	**青山記念武道館の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
65	**半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
66	令和7年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	⑥
67	令和7年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	⑥

議案Pick Up

議案第56号 半田市立認定こども園条例等の一部改正について

幼保連携型認定こども園に半田市立成岩こども園を追加するものなど

議案第60号から65号で指定した指定管理者について

60号：株式会社はんだ賑わいビル開発
61号：特定非営利活動法人 半田市観光協会
62号：アクティオ株式会社
63号：株式会社スポーツプラザ報徳
64号：三幸株式会社
65号：特定非営利活動法人 ソシオ成岩スポーツクラブ

■全会一致で可決した案件

議案番号等	議案名	会議録
68	**半田市教育委員会の委員の任命について** 議案 Pick Up	①
69	**半田市監査委員の選任について** 議案 Pick Up	①
認定2	令和7年度半田市水道事業会計決算の認定について	③
認定3	令和7年度半田市下水道事業会計決算の認定について	③

■その他の案件

議案番号等	議案名	会議録
報告15	専決処分の報告について（公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）	①
報告16	専決処分の報告について（道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）	①
報告17	令和7年度半田市決算に係る健全化判断比率について	①
報告18	令和7年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について	①
報告19	令和7年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計継続費の精算報告について	①
報告20	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について	①
報告21	地方独立行政法人知多半島総合医療機構の経営状況について	①

議案 Pick Up

議案第68号
半田市教育委員会の委員の任命について

委員2名の任期満了に伴い、引き続き堀崎隆資氏、新たに間瀬恵子氏を任命するもの

議案第69号
半田市監査委員の選任について

監査委員の任期満了に伴い、新たに前田晃教氏を選任するもの

会議録

④総務委員会　①本会議
⑤文教厚生委員会　②予算委員会
⑥建設産業委員会　③決算委員会

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	会議録	創造みらい半田													公明党			つなぐ未来		チャレンジはんだ		無所属			議決結果
			澤田勝	山本裕介	芳金秀展	鈴木英華	田中嵩久	竹内功治	鈴木幸彦	榊原瑞輝	渡邉昭司	沢田清	岩田玲子	石川英之		山田清一	坂井美穂	麻生七海	中村和也	小出義一	伊藤正興	國弘秀之	有留麻由	新美保博	加藤美幸	
53	令和8年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号	②	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	可決
55	令和8年度半田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号	②	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	可決
認定1	令和7年度半田市一般会計等歳入歳出決算の認定について	③	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	認定

※1:議長は表決に加わらない。　2:○は賛成の議員、●は反対の議員、欠は欠席

反対討論（議案第53号・55号）

有留麻由議員

マイナ保険証は既に約8割の人が利用しています。「利用しない、したくない、できない」の選択も尊重すべきであるため、53号での更なる利用促進には反対です。また、55号は子ども・子育て支援金の徴収システムに関する予算ですが、本来医療を支える医療保険の仕組みを利用し広く国民から徴収する制度そのものに賛同できず反対です。

反対討論（認定第1号）

有留麻由議員

石塚地区工業団地や道の駅事業、半田病院の地方独立行政法人化は必要性や公益性から市民生活への影響に懸念があり、将来の負担増に繋がりかねません。また、滞納整理機構や後期高齢者医療保険の税率の引き上げ、少子化対策での出会い事業、マイナカード事業などは多様な市民一人ひとりの暮らしに寄り添う施策とは言えないため反対です。

決算認定議案の審査

9月の定例会では、前年度の予算が適正に執行されたか、その事業内容を決算委員会（総務・文教厚生・建設産業分科会）で審査しました。各分科会での審査内容について、その一部をお知らせします。

その他の審査内容については、録画配信（11月中旬まで）、又は会議録（11月下旬に公開予定）をご覧ください。

録画配信（YouTube）　会議録

総務分科会

災害対策事業

問 住民主体の避難所運営訓練を15か所で実施していますが、その成果と課題をどのように考えていますか。

答 避難所にある段ボールベッドなどの資機材を円滑に活用できるようになりました。今後は、安否確認の訓練が不十分であるため、それぞれの避難所で適切に実施できるよう努めていきます。



ふるさと納税事務

問 令和7年度のふるさと納税をどのように評価していますか。

答 市民税の流出額がふるさと納税で得た金額を上回り、財政効果が低かったため、返礼品の数を増やしたり、使い道をPRしたりするなど、対策を強化していきます。



男女共同参画社会推進事業

問 この事業から得られた成果は何ですか。

答 講座等を開催することにより市民の男女共同参画への理解を促進することができました。今後は、民間企業や自治区において実践的な取組が行われるよう働きかけていきます。



情報公開・個人情報保護事務

問 令和7年度に実施した再発防止策をどのように評価していますか。

答 一定の効果があったと捉えており、情報漏えいを予防するため、引き続き対策を実施していきます。



広報事務

問 市公式ホームページへのアクセス数が目標に達していない要因をどう分析していますか。

答 AIの発展により、ホームページを直接閲覧しなくても必要な情報が得られるようになったためと考えています。



DX推進事業

問 行政手続のオンライン化の進捗はどのようですか。

答 申請件数が多い行政手続を重視してオンライン化を進めた結果、目標値を達成することができました。



文教厚生分科会

予防接種事業

問 増額補正した予防費でなぜ約1億円の不用額が生じましたか。

答 新型コロナワクチンやインフルエンザワクチンの予防接種費用が、当初の見込みを下回ったためです。



老人ホーム入所事業

問 増額補正した予算でなぜ多額の不用額が生じましたか。

答 年度末にかけて半田養護老人ホーム入所措置等の対象者数が減少したことによるものです。



文教厚生分科会

国民健康保険事業

問 保険給付費でなぜ4億円以上の不用額が生じましたか。

答 一人あたりの医療費は上昇しましたが、被保険者数が年間約1千人減少したことによるものです。



老人クラブ活動助成事業

問 クラブ数が59から38へ減少した要因と今後の対策をどのように考えていますか。

答 新規入会者の減少や、会員減に伴う解散・統合がクラブ数減少の主な要因です。シニアクラブへの名称変更など、時代に合わせたあり方を検討しています。



学校給食食材購入事業

問 食材の地産地消比率の実績が目標値を大幅に下回ったのはなぜですか。

答 物価高騰への対応として予算内での献立調整を優先した結果、比較的価格の高い地元食材の選定頻度が低下したためです。



いじめ・不登校対策事業

問 早期発見・対応の成果を把握していますか。

答 いじめの認知件数と不登校の児童生徒数の推移は把握していますが、支援を行った具体的な人数を成果として把握することはしていません。



建設産業分科会

諸証明事務事業

問 証明書等のコンビニ交付率が過去最高となりましたが、コンビニ交付は窓口業務の改善につながりましたか。

答 コンビニでの交付件数の増加により、窓口における混雑が緩和され、また、業務負担も軽減されました。



6次産業化農業者支援プロジェクト事業

問 知多半島農家マルシェへは農産物の高付加価値化や販路拡大、農業者の所得向上にどの程度効果があったと考えていますか。

答 参加農家へ実施しているアンケートにおいて、一部の農家では10％から20％程度の売上の向上が見られており、販路拡大や所得向上への効果が少しずつ現れていると考えています。



地域猫活動支援事業

問 地域猫活動に登録している団体が少なく、拡充が必要と考えますが、制度の見直しなどを検討しましたか。

答 団体が設立されても、不妊・去勢手術などのノウハウを持たない団体もあるため、これらのノウハウを持つ団体が地域外の団体を支援できるようにすることや、手術に対する補助要件の緩和などを検討しています。



中心市街地活性化事業

問 中心市街地を訪れた人数が、増加した要因をどのように分析していますか。

答 「コココリン」が年間を通じて多くの来場者を集めたことに加え、「発酵ツーリズム東海」など、市内外から多くの人が訪れるイベントが開催されたことが、人数の増加につながったと考えています。



名鉄河和線連続立体交差化事業

問 予備調査ではどのようなことを実施しましたか。

答 令和8・9年度に国の補助金で本格的な調査を行うため、県や国との調整や申請に必要となる事前準備として、事業の費用対効果や、沿線のまちづくり上の課題、それらを事業でどのように解決できるか等について検討を行いました。



有価資源回収奨励事業

問 高齢化や担い手不足等により、資源回収団体が減少していますが、事業の拡充に向け、どのような取組みを行いましたか。

答 民間事業者が地域に回収容器を設置し、資源回収を行っているため、これらの事業者と地域をつなぎ、活動の負担を軽減する方法を検討しています。



議会事業評価の結果

本年度は、決算審査の対象となる事業の中から複数の事業を様々な視点から選定し評価を行いました。また、その評価結果は、10月に市長へ提言として報告しました。
事業評価に関する詳細な内容は、ホームページでご確認ください。



総務委員会

1. STATION Ai活用事業（企画課）

事業の内容	行政運営に係る計画の推進や質的改善を図るために、STATION Ai を最大限に活用した情報収集を行う。また、地域課題や行政課題、市内事業者の課題を、STATION Ai に入居しているスタートアップ企業と共に解決し、市民サービスの向上と業務の効率化等を図る。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①速やかに、庁内の行政課題を幅広く把握し、課題解決による効果や実現可能性を踏まえて、取り組む課題に優先順位をつけ、解決すべき内容を具体化した上で、適切な企業とのマッチングに繋げること。 ②令和9年度までに、地域課題の解決にどの程度結びついたかなど事業の成果を把握するため、担当課との協議回数や実証実験の回数、事業化に至った件数などの成果指標（KPI）を設定すること。 ③令和9年度までに、実証実験や協議、事業化に至らなかった要因を分析することで、課題整理を行い、その課題を情報共有する仕組みを構築すること。



2. 人事管理事務（人事課）

事業の内容	社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、新たな変革にチャレンジできる組織作りに努める。また、能力と実績が適正に評価され、職務に意欲的に取組むことができる人事制度の確立に努めるとともに、心身ともに健康で個々の能力が十分に発揮できる環境整備を進める。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①令和9年度までにアンケート結果だけでなく、「休職者数」「離職率」「時間外勤務時間」などの客観的なデータを成果指標として設定すること。また、令和8年度に見直した伴走支援（生成AI活用やグループコーチング等）の効果を検証し、成果指標に基づき、効果的な職場環境改善に繋がっているか分析すること。 ②次回アンケートを実施するまでに、アンケート未回答の要因を分析し、回答率向上の取組みを行うこと。 ③速やかに、職員の意欲向上に取組み、働きやすい職場環境の整備を行うため、課題に対して改善した事例や職員の活動事例など良い事例を庁内に展開する仕組みを整えること。



文教厚生委員会

1. ファミリーサポート利用促進事業（こども育成課）



事業の内容	子育ての手助けが必要な方（依頼会員）と子育ての手助けをしたい方（援助会員）を繋ぎ、地域で子育てを助け合う相互援助活動であるファミリーサポート事業の利用促進を図る。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①令和9年度からは、成果指標を見直して、実活動援助会員数、利用世帯数、マッチング率、利用者満足度、再利用率などを指標とし、市民ニーズを把握できるよう改めること。 ②令和9年度からは、従来の対面による依頼会員の登録手続きに加え、オンライン化を導入することで対面手続きの手間を軽減し、登録希望者の負担軽減を図るとともに、他の子育て支援事業との連携を深め、利用者の満足度向上を目指すこと。 ③令和9年度からは、子育て世帯への周知が進み、利用されるように、SNSなどのデジタル媒体を活用した情報発信を強化するとともに、利用者の声を公開することで事業に対する安心感を持ってもらえるよう、効果的な周知と利用促進を図ること。

2. 健康づくり推進事業（健康課）



事業の内容	健康増進法・自殺対策基本法、第3次健康はんだ21計画・第2次半田市自死対策計画に基づき、健康寿命の延伸及び自殺者の減少のため、年齢を問わず市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進する。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①令和9年度は、「健康はんだ21計画」の健康増進分野の指標を成果指標に反映し、特定検診の受診率や生活習慣、健康マイレージアプリの利用状況など、市民の健康状態や行動内容を評価できる成果指標に見直すこと。 ②令和9年度は、健康マイレージアプリや公式LINEなどのデジタル媒体の活用や、地域団体・企業との連携を強化し、健康づくり事業を積極的に周知することで、現在健康な方で健康に対して関心が低い市民の意識改革に繋がる環境整備を進めること。

3.生活困窮者自立支援事業（生活援護課）



事業の内容	生活困窮者自立支援法に基づき、就労や心身の状況、地域社会との関係性、その他の事情により、現に生活に困窮する方（離職、ホームレス、生活苦、多重債務、ひきこもりなど）からの相談に幅広く対応し、早期自立に向けた包括的な支援を行う。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①令和9年度からは、相談件数などの活動指標だけでなく、自立相談支援事業を始めとした各種事業を通して、市民の生活の改善を示した成果指標へ見直すこと。 ②令和9年度からは、支援を必要とする方々の潜在的なニーズや困窮状態にある方を早期に把握し、アウトリーチ活動を強化するとともに、関係機関との連携強化や地域ネットワークの充実を図り、「くらし&住まい相談室」などの相談窓口の周知も進めること。 ③令和9年度からは、本事業の専用タブレット端末を導入し、動画等を用いた分かりやすい説明による相談者の理解促進と、記録・報告業務の効率化を図ることで、より効果的で効率的な支援体制の構築を目指すこと。 ④令和9年度からは、支援終了後一定期間にわたる効果検証を実施し、再困窮の防止に努めること。

建設産業委員会

1. 就農者支援事業（農政課）

事業の内容	農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な農業を実現するためには、青年等の新規就農を増やしていく必要がある。経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対して、農業次世代投資事業補助金・新規就農者育成総合対策事業補助金を交付する。また、PRを強化し、新規就農者を確保する。
事業評価（方向性）	問題がある（拡充する）
事業への提言	①令和9年度は、市独自の新規就農者支援補助制度を創設し、畑地における農業用水の確保や初期投資の負担軽減を支援すること。共同井戸、ため池・貯水槽、ポータブル給水設備等、半田市の農業環境に応じた支援方法を検討すること。 ②令和9年度は、成果指標を「認定新規就農者数」から、認定の有無を問わない新規就農者数（法人による新規参入を含む）へ見直し、事業の実態を適切に把握できる指標とすること。 ③令和8年度中に、就農相談から実際の就農に至った実績を把握する追跡調査の仕組みを構築し、相談段階での離脱要因を分析するとともに、就農に繋がる支援の充実を図ること。



2. 地域脱炭素移行・再エネ推進事業（環境課）

事業の内容	2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指した取組みを推進するため、環境省の交付金を活用し、公共施設への太陽光発電設備等の導入を進める。行政が地球温暖化対策に対する率先行動を示すことで、太陽光発電設備等導入の民間施設や農地等への波及を図り、市全体の脱炭素社会の推進を図る。
事業評価（方向性）	問題がある（拡充する）
事業への提言	①令和9年度は、公共施設と市域全体の取組について、それぞれの目的・成果指標・目標値を整理するとともに、PPA導入施設数、太陽光発電導入容量（kW）、補助金交付件数等、具体的で分かりやすい成果指標を設定すること。また、2030年度以降・2050年に向けた削減シナリオを検討すること。 ②令和9年度は、民間事業者への再生可能エネルギー設備導入を促進するため、金融機関や半田商工会議所等との連携を強化し、セミナー・ワークショップや対面での情報提供等、事業者が制度を利用しやすいPR手法へ見直すこと。 ③令和9年度は、ため池・貯水池等の未活用公共用地や農地等の遊休地を活用した再生可能エネルギーの導入を推進し、PPA方式等の民間資金も活用しながら、公共施設以外への導入拡大を図ること。

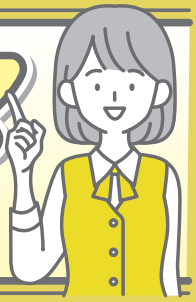


3. 老朽化建築物取壊促進・空家対策事業（建築課）

事業の内容	大地震時に倒壊し、二次災害を引き起こす可能性の高い老朽化建築物やブロック塀の取壊・撤去補助の実施及び空家の適正管理を促進することで減災化を図る。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①令和9年度は、相続や所有者死亡を契機とした空き家の発生を抑制するため、相続登記・財産管理・生前整理等に関する相談・啓発を充実させ、おくやみ手続き等の機会を活用した周知を強化するとともに、関係部署との連携によって事業をより一層推進させること。 ②令和9年度は、宅建協会等との連携を強化し、空き家の利活用・流通を促進すること。成果指標として空き家バンクの成約件数等を追加すること。 ③令和9年度は、民間住宅耐震事業と老朽化建築物取壊促進事業について、地震対策という共通の目的を踏まえて、効率的かつ分かりやすい事業体系とすること。



特別委員会の年間調査テーマ



半田市議会では、市の課題解決に向けて調査・研究を行う特別委員会を立ち上げ、市に提言をしています。本年度の調査テーマは以下のとおりです。

共生のまちづくり推進調査特別委員会



これからのまちづくりでは、共生社会の実現に向け、多様な市民が安心して訪れ、交流できる環境を地域の中に整備していくことが求められます。公園は現在も多くの人が集う交流の場でありますが、今後は単なる「遊びの場」ではなく、障がいの有無、年齢、性別などに関係なく多様な市民が利用できるインクルーシブな遊び場として整備していく必要があります。当委員会では、共生社会に向けた取組みとしてインクルーシブ公園を中心としたまちづくりについて調査研究していきます。

いじめ解消調査特別委員会



国内におけるいじめは、認知件数や重大事態が過去最多の水準にあり、深刻な状況となっています。いじめは、子どもの命と尊厳を脅かす重大な人権問題であり、長期化・重大化を防ぐには、学校や教育委員会の対応に加え、学校外から子どもや保護者を支える仕組みが重要です。当委員会では、学校外からの相談・支援の仕組みに関する事例を調査研究し、いじめの兆候を早期に発見し、その行為を速やかに停止させ、解消に繋げる体制の構築を検討していきます。

今後の議員活動、議会活動に活かす！ 勉強会を行いました



テーマ 「名鉄河和線 連続立体交差事業」について



この事業は渋滞解消や交通安全だけでなく、半田市のまちづくりにも大きく関わる長期的な事業となるため、担当課である都市計画課から現在の状況と今後の計画について説明を受けました。

学びのポイント

名鉄河和線の鉄道の高架化について、現在、高架化する区間や仮線・別線の施工方式などの検討をしており、今後1年から2年の間に方向性を決定する必要があるとのことでしたが、計画段階から市民の皆さまに情報提供するほか、必要に応じて意見を聞くことが重要だと感じました。

この事業は、将来の半田市のまちの姿を大きく左右する事業となります。市議会としても費用対効果や市の財政負担だけではなく、市民の安全・利便性、そして、半田市のまちづくりという視点から、しっかり議論していきます。

定例会のお知らせ



■12月定例会：会期12月 8日(火)～12月18日(金)
■ 3月定例会：会期 2月18日(木)～ 3月31日(水)

※両定例会の日程は、約1週間前の議会運営委員会で決定します。詳細な日程は、ホームページでご確認ください。

議会本会議の予定へ

本会議を議場で傍聴しませんか。

※傍聴の手続きは、難しくありません。市役所5階の傍聴ロビーで受付表にお名前と住所をご記入いただくだけです。

本会議は YouTube でライブ配信をしています。

9月定例会では、決算委員会の録画配信を試行しました。
3月の定例会では、予算委員会の録画配信を予定しています。

本会議・決算委員会
(YouTube)
11月中旬まで

表紙について

「おっかわちょっこり」は、市内12か所のこども食堂の中で最も早く開設され、今年で10周年を迎えました。月2回開催されており、名前は、地域の方言で「ちょっとおいで」を意味する「ちょっとこりん」に由来し、地域では、「おっちょこ」の愛称で親しまれています。

取材で訪問した日は、スタッフが笑顔で手際よくカレーライスや総菜を準備していました。中間テスト前ということもあり、子どもたちは普段より少なめでしたが、それでも約50人の子どもたちが訪れ、賑やかな時間が流れていました。この活動はスタッフの努力だけでなく、食材の寄付など多くの支援者の協力によって支えられています。また、この場所は食事をするだけでなく、子どもたちが仲間や大人と繋がる大切な居場所にもなっています。

食事を終えた子どもたちが自ら机を拭き、「ありがとう」と笑顔で皿を片付ける姿から、地域で子どもを温かく見守り育てる活動の意義を改めて感じました。(竹内)

市内の
こども食堂

あ と が き

今回の議会だよりでは、9月定例会の決算認定議案の審査における主な質疑と議会事業評価における評価と提言を、イラストなどを添えてご紹介しました。ご覧いただき、以前よりも分かりやすくなったと感じていただけたなら幸いです。

また、市議会では、今回の議案審査から新たな取組みとして動画配信を始めました。動画では、誌面で伝えきれない審査の雰囲気や、議員の様々な視点、時には人柄も感じられるかもしれません。「どんな審査が行われているのか知りたい」と少しでも議会に関心を持っていただけたら、ぜひこの広報誌と併せて動画もご覧ください。

誌面の改善など今回の新しい試みが、市民の皆さまに市議会をより身近に感じていただくきっかけになることを願っています。(鈴木)

議会広報誌編集委員会

委員長　山田　清一
副委員長　鈴木　英華
委　員　小出　義一／竹内　功治
　　加藤　美幸／沢田　清

編集・発行　半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町２-１
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail：giji@city.handa.lg.jp

半田市議会へ

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。